シリーズ菊池遺産 ⑥⓪

問い合わせ先　企画振興課　☎0968(25)7250

菅原神社

稗方区民の氏神であるこの神社は、大宰府の勧請により建立されました。肥後神祠正鑑によると、祭神は菅原道真、建立は元文2年（1737年）、祭日は12月20日です。

明治41年8月1日に、おこもりの火により出火消失し、その後明治44年に再建されました。

毎月1日、15日には宮総代によって榊が供えられています。

毎年8月1日には地元の夏祭り、12月20日には嫁とり祭りを行っており、12月21日には稗方神楽を奉納しています。

認定番号第ふるさと H26-1 号
推薦者　稗方区

稗方神楽

大宰府からの勧請により建立された菅原神社。12月20日の祭日の翌日に、地域の人々が五穀豊穣や無病息災、家内安全を祈願して奉納しています。

この神楽は、阿蘇神社に起源を持つ肥後神楽の流れを汲むもので、150年以上も前から続けられています。素朴な太鼓・笛のリズムに乗せて、勇壮な舞が披露されます。

少子高齢化が進む中、区の伝統的なものを若者たちに引き継いでいきたいと、区をあげて取り組んでいます。

認定番号第特別 H25-6 号
推薦者　稗方区

人権・同和教育シリーズ ⑪⑨

問い合わせ先　人権啓発課　☎0968(25)7209

「ことばの力」人権カルタの取り組みから

地域人権教育指導員　宮川伊十（みやがわいじゅう）

ひとつのことばで　けんかして
ひとつのことばで　なかなおり
ひとつのことばに　おじぎして
ひとつのことばに　なかされる
ひとつのことばは　それぞれに
ひとつのいのちを　もっている

（作者不詳）

ことばには力があります。そのことばをより確かなものにしようと、七城地区では、カルタを通して人権について考える取り組みをしています。読み札の17文字に込められた思いと取り札の絵を照らし合わせると、自然とメッセージが伝わります。

日々の生活の中に、人権について考えさせられる事象がたくさんあります。出会いはあいさつから。家庭・職場・園や学校・地域で元気な声かけができているでしょうか。

お　おはようと　交わすあいさつ
こだまする
「あれ、おはようが返ってこない」「表情暗いな」。わずかな気付きから、次の声かけが始まります。

き　気付こうよ　言われてされて
いやなこと
く　悔しくて　泣きたいときは
話そうよ
し　知らんぷり　冷たい風が
吹きぬける
た　助けよう　心の叫び
気付いたら

いじめや差別がいけないこと、どんなに人を傷つけるかは、誰もが知っているはずです。そのことを忘れないように、私たちは学び続けるのではないでしょうか。

い　いじめダメ　心の傷は
消えません
さ　差別する　心をなくす
とりくみを
り　理屈では　伝わらないよ
心まで

思い込みや偏見をなくすには、正しい知識（歴史・現実）を正しく学ぶことで、いろんな見方ができるようになり、同じ思いをもつなかまもできます。そして、おかしいことに怒りをもち、おかしいことを見抜く力も付いてきます。

か　考えよう　みんななかよく
するために
み　みとめあい　励まし合って
伸びていく
れ　歴史には　未来を変える
カギがある

人間関係や集団をよりよくするためには、自分が変わる必要があります。そして、鋭い感性で気付いて、考えて、行動することが大切です。

今、菊池市で生活する私たちにとって、市民の高齢化は大きな課題です。多大なる貢献をしてきた高齢者は、もっと大切にされていいはずです。

ろ　老人は　地域のたから
大切に
の　乗り降りは　僕に任せて
おばあさん
ち　父と母　いのちのバトン
受け継ぐよ

大切な命。その命は多くの人の支えで受け継がれていきます。私たちには、よりよい社会をつくっていく責務があります。

め　めぐりあい　出会えたことに
ありがとう
ね　ねがいごと　世界の人が
なかよしに

人権が確立された豊かな社会づくりには、「ことばの力」は欠かせません。だからこそ、真に生きたことばを発するために、私たちは日々の生活の中で学び合っていかねばなりません。

わいふー番館だより

問い合わせ先　わいふー番館　☎0968(24)6630

望郷遺作展　故・谷口孝子

期　間　8月4日㈫～16日㈰

故郷の隈府を離れ60数年、いつも脳裏にあるのは菊池の想（おも）い出。絵画を学び続けた作者の遺作をぜひご覧ください。

第2回「戦争と平和」巡回展　きくち九条の会

期　間　8月18日㈫～30日㈰

戦後70年、戦争を知らない人が増加しています。戦争の実態を学び、平和な毎日が送れるように願っています。ぜひご来館ください。

まちかど資料館企画展
「菊池に祀られる神々　古事記、日本書紀の神様展」

期　間　8月1日㈯～11月29日㈰

自然崇拝を起源とする日本の八百万の神々は、さまざまな思想や宗教と融合しながら、常に日本人の心の中に生き続けてきました。市内には多くの神社があり、そこにまします神話の中の神様を紹介します。

開館時間　午前9時～午後5時
※休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

菊池夢美術館情報

問い合わせ先　菊池夢美術館　☎0968(23)1155

2015「夏の体験教室」展

期　間　8月1日㈯～30日㈰
体験時間　午前10時～午後3時

楽しい夏休み！世界に一つだけの「マイ・ハンドメイド」作りに挑戦しませんか。気軽に参加できる体験教室を計画しました。事前の申し込みは不要です。

期間中、菊池南中学校美術部の作品を展示します。ぜひご覧ください。

- 毎日：クラフトパンチアート、ストーンペイント、陶器の絵付け体験
- ㈬：つまみ細工体験
- ㈮：布ぞうり体験
- ㈯㈰：竹細工体験（風車や籠など）

体験料（材料費）　1作品300円～
※体験内容で費用が異なります。
詳しくはお問い合わせください。

開館時間　午前9時～午後6時
※期間中の閉館日はありません。

ふるさと緑の便り
菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先　きくちふるさと水源交流館　☎0968(27)0102

「木六竹八堀十郎（きろくたけはちへいじゅうろう）」という言葉を知っていますか。木は6月に、竹は8月に伐採し、壁は10月に塗ると長持ちするという意味。竹は水分の少ない夏に切るのが「伐り旬」なのです。日本では昔から竹を生活に利用する知恵があり、とても身近なものでしたが、最近では生活様式の変化から竹に触れる機会も減ってしまったようです。

きくちふるさと水源交流館では、遊びを通したさまざまな竹細工プログラムを提供しています。夏のオススメは、参加者で孟宗竹を切り出しレーンづくりをする「竹そうめん流し」。皆で協力することで、そうめんの味も格別です。

そして、年間を通じて体験できるのが「スーパー竹とんぼ」。ナイフを使わないで作れることから、子どもから大人まで楽しむことができます。その他にも竹箒、竹笛、竹ストラップづくりや竹ごはんづくりなども体験できます。

昔ながらの知恵を学び、楽しい竹の体験にチャレンジしてみませんか。

竹そうめん流し

「はい！こちら菊池市消費生活センターです！」㊱

問い合わせ先　菊池市消費生活センター　☎0968(36)9450
㈪～㈮午前10時～正午、午後1時～午後4時　福祉課入り口

今月は6月末までのセンター相談概要をお知らせします。

相談件数
- 4月　24件
- 5月　23件
- 6月　28件
- 合計　75件

相談内訳
- 苦情　67件
- 問い合わせ　8件

性　別
- 男性　39人
- 女性　33人
- その他（団体など）　3人

年代別
- 59歳以下　39人
- 60歳代　19人
- 70歳以上　17人

相談方法
- 来所相談　17人
- 電話相談　58人

相談内容（販売購入形態）
- 通信販売　30件
- 電話勧誘販売　14件
- 店舗購入　15件
- 訪問販売　3件
- その他　13件

架空請求の相談件数がトップ

本市ではインターネットでの架空請求、いわゆるアダルトサイト架空請求相談件数が上位を占めていて、全国的にも同じ相談が上位を占めています。

スマートフォンの普及が進む中で、トラブルも複雑化、巧妙化する傾向が多くなっています。児童から高齢者までインターネットが生活の一部になっている現状では、トラブルに遭わないためにも自分でセキュリティについて学び、個人情報を極力開示しないようにすることが重要です。

消費生活センターではトラブルに遭わないために、悪質商法や、最近の被害状況などを説明しながら賢い消費者になるための出前講座を開催しています。詳しくはお問い合わせください。

消費生活センターでは、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。